

# 天竜だより

## 静岡県立気賀高等学校 1年生の就業体験を実施しました！

6月14日(火)～16日(木)の3日間、静岡県立気賀高等学校の1年生1名を対象に職場体験学習を行いました。

### 1日目

#### 森林管理署ってどんなところ？

##### 天竜森林管理署の仕事を学ぶ

「今まであまり山にふれる機会がなかったから、この職場を選びました。」と生徒さん。まずは、この職場がどんな仕事をしているところか知ってもらうために、国有林とは？林野庁とは？森林管理署って何をしているところか？を説明しました。そのあと、事務室内をまわり、各課で仕事をしている職員の話聞いてもらいました。



森林管理署の事務室のようす。普段職員はこのような感じで仕事をしています。



森林官は現場に行く前に安全確保のため、「今日は〇〇に行きます。」と署に連絡を入れます。今回、その連絡を生徒さんに入れてもらいました。

##### 森林事務所の仕事って？

次に、森林管理署のもうひとつの重要な職場である森林事務所に行きました。瀬尻森林事務所（浜松市天竜区龍山町）の森林官から普段の業務について話を聞いたり、チェーンソーや鉋、くさびなど山で使う様々な道具をみせてもらいました。

##### 国有林はどんなところ？

1日目の最後は、瀬尻国有林を見学。森林には様々な種類や施業方法があり、各々の役割があることを知ってもらうために、明治時代に金原明善翁が植栽したおよそ120年生のスギ展示林と、隣接した複層林の中を歩いて見比べてもらいました。



森林官から展示林の説明を受けている様子。展示林と複層林を見比べて「全然違う」と言っていた生徒さん。体感してもらえたみたいです。

### 2日目～3日目

#### 「森林の育て方」を学ぶ

2～3日目は「森林の育て方を学ぶ」をテーマに、実際に現場を見学したり、作業を体験する形で学びました。森林を育てる手順に沿って、2日目に、植付け箇所見学→下刈り体験→枝落とし体験を実施。3日目に収穫調査体験→間伐体験→間伐実施箇所見学（定性間伐・列状間伐実施箇所の見学）を行いました。

##### “下刈り”体験

はじめに、三ヶ日町にある平山国有林で“下刈り”作業を体験しました。草木が最もよく成長する夏に行うため、最もきつい作業と言われますが、暑い中がんばって作業してくれました。



##### “枝落とし”体験

その後、高校のある気賀の国有林に移動し、“枝落とし”作業を行いました。「実際に体を動かして作業するのは、やっぱり楽しい」と生徒さん。

枝落とし実施前は枝がびっしりついた暗い林でしたが、実施後は日が林内に入り、大分明るくなりました。



##### 収穫調査&間伐体験&間伐実施箇所見学

3日目は、収穫調査（間伐などを行うとき、その対象となる森林にどんな木があって、どれだけの材積があるかを知るため、木の太さや高さ等を調査する作業）と間伐体験を行いました。

収穫調査では、“輪尺を使って木の太さを測る”“測竿で木の高さを測る”“野帳に木の太さ・高さを記録する”という一連の作業を体験してもらいました。収穫調査時に伐ると決めた木を2～3本間伐した後、間伐した後の森林がどのようになるかを見てもらうため、近隣の間伐実施箇所を見学しました。

輪尺を使って、木の太さを測っている様子。→話したことや教えたことをすぐ吸収して、的確に作業に取り組んでいく姿に感心しました。



森林・林業が身近にある浜松市でも、山にはあまり行ったことがないという子供達が多いです。山での仕事を子供達に知ってもらうため、天竜森林管理署でも積極的に就業体験を受け入れることができると思いました。

発行：2011年7月21日

関東森林管理局 天竜森林管理署 森林ふれあい係

